

平成28年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	情報デザイン総合演習		授業コード	P150351
担当教員名	赤星 哲也・濱田 大助・星芝 貴行・高 文局・坂井 美穂・足立 元・坪倉 篤志・吉森 聖貴・福島 学・鈴木 秀男・松永 多苗		科目ナンバリングコード	P31503
配当学年	3	開講期	後期	
必修・選択区分	選択	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	情報デザインをめぐる様々な問題解決に取り組み、得られた成果を発表します。一人ひとりの積極性と、チーム内での役割をこなすことが求められます。			
受講心得	受け身の姿勢にならず、積極的な姿勢で授業に臨んでください。			
教科書	各分野のチームによります。			
参考文献及び指定図書	各分野のチームによります。			
関連科目	情報デザインコース専門科目			

授業の目的	情報デザイン分野のコンテンツ作成に関する様々な学習を行います。各々が目的意識を持ち、コンテンツ制作体験を通して、これまで学んできた知識と技術をより実践的な力に近づけることをねらいとしています。
授業の概要	現実的性格をもつ諸問題に対しテーマを設定し、これまでの授業科目で習得した知識・技術を横断的、相互有機的に連結させながら問題解決に取り組みます。 プロジェクトテーマの設定にあたっては、企業からの委託研究や、地域の各種公共団体から寄せられる公共的テーマ、コンクールへの参加など、多様なケースが想定されます。

○授業計画	
学修内容： 詳細な内容は授業時に説明します。	学修課題(予習・復習)
第1週：計画書作成	プロジェクト計画書作成のための調査
第2週：計画書作成	プロジェクト計画書作成のための調査
第3週：調査・研究・制作等	レポート、調査資料、作品素材等の準備
第4週：調査・研究・制作等	レポート、調査資料、作品素材等の準備
第5週：調査・研究・制作等	レポート、調査資料、作品素材等の準備
第6週：調査・研究・制作等	レポート、調査資料、作品素材等の準備
第7週：調査・研究・制作等	レポート、調査資料、作品素材等の準備
第8週：調査・研究・制作等	レポート、調査資料、作品素材等の準備
第9週：調査・研究・制作等	レポート、調査資料、作品素材等の準備

第10週：調査・研究・制作等		レポート、調査資料、作品素材等の準備
第11週：調査・研究・制作等		レポート、調査資料、作品素材等の準備
第12週：調査・研究・制作等		レポート、調査資料、作品素材等の準備
第13週：調査・研究・制作等		レポート、調査資料、作品素材等の準備
第14週：調査・研究・制作等		レポート、調査資料、作品素材等の準備
第15週：調査・研究・制作等		レポート、調査資料、作品素材等の準備
第16週：プレゼンテーション		報告書、プレゼン資料
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	
地域志向科目		
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	各チームのテーマに対して深く理解し、自ら意欲的に活動する。
【知識・理解】	専門的な知識をもとにテーマに関する理解を深める。
【技能・表現・コミュニケーション】	テーマに関する専門的な技能と表現力を高める。
【思考・判断・創造】	専門的な知識・技能・表現力をもとに、独自性のある視点から問題解決にあたる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		20点	5点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		20点	5点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		20点	5点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		20点	5点	

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他 (無形成果)	[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。